

2025 年 8 月 27 日

各位

大栄環境株式会社
代表取締役社長 金子 文雄

鹿児島県霧島市令和 7 年 8 月豪雨の支援に関するお知らせ

このたび鹿児島県で発生しました豪雨により、お亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表します。また、被害を受けられたすべての皆さまにお見舞い申し上げます。

当社グループは、霧島市からの要請に基づき、災害廃棄物処理に関する協定の下、災害廃棄物の適正かつ迅速な処理を目指し、仮置場の運営および災害廃棄物の処理を開始しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 背景

2025 年 8 月 7 日から 8 日にかけて、停滞前線の影響により鹿児島県では記録的な大雨が発生しました。特に 8 月 8 日未明には線状降水帯が発生し、霧島市を含む広範囲で甚大な被害が確認されています。霧島市福山町牧之原では 24 時間降水量 515.5 ミリ、霧島市溝辺では 506.5 ミリなど、観測史上 1 位を更新する記録的な豪雨となりました。

この豪雨により、鹿児島県内では人的被害や住家被害が相次ぎ、霧島市では床上浸水 505 棟、床下浸水 342 棟が確認されています。また、土砂災害や河川の氾濫による甚大な被害が報告されています。（8 月 22 日 15 時 00 分 現在）

2. 支援の概要

当社グループは、霧島市と締結している災害廃棄物処理に関する協定に基づき、以下の支援を実施しています。

8 月 10 日（日）

霧島市より仮置場の運営および災害廃棄物処理に関するご相談の連絡を受ける。

8 月 13 日（水）

当社グループ社員が現地を訪問し、仮置場のレイアウト設計、必要な人員や重機資機材のアドバイスを提供。

8月16日（土）

当社グループのアドバイスを参考に、霧島市が民間事業者から土地の提供を得て仮置場を開設。

※市有地以外での仮置場運営における留意点やノウハウに関するアドバイスを実施。

8月18日（月）

当社グループから社員を派遣し、仮置場運営の支援を開始。

8月21日（木）

災害廃棄物処理の支援を開始。現在も迅速かつ適正な処理を進行中。

3. 今後の対応

当社グループでは、霧島市との協力のもと、被災地の一日も早い復旧を目指し、引き続き災害廃棄物処理を進めております。また、これまでに培った知見やノウハウを活用し、地域社会の安全・安心の確保に貢献していく所存です。

被災地の皆さま、並びにそのご家族の安全と健康を心よりお祈り申し上げます。

以上

■本リリースに関するお問い合わせ先

大栄環境株式会社 総合政策本部 IR・サステナビリティ推進部

TEL：078-857-5276（受付時間：9時～17時）

メールでのお問い合わせは[こちら](#)から